

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
個性・性格とコミュニケーション		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に学び得るコミュニケーションの基礎に重ねて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「個性」と「性格」というテーマを、社会の観点で見つめ、人間交流で必然的に伴う自己と他者の多様性がコミュニケーションにあつて如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、社会実装への展開を考察していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	<p>本科目のテーマについての得意不得意は成績に関係しない。自己と向き合う機会があるが、苦手意識を持っていたとしても興味・関心が少しでもあれば積極的に楽しんで受講してもらいたい。</p>				
教科書	特になし。				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	個性と性格に関するコミュニケーションの実際や理論が多様であることを認識し、自身の自己表現を成長させることができる。			HC(1)、(3)、(4)	
②	個性と性格に関する多様なコミュニケーションの見識を体験して、実際の社会場面で表現・応用する準備学習とすることができる。			HC(2)、(6)	
③	自分と他者との価値観・考え方の違いを理解し、説明できる。			HC(4)、(6)	
④					
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。授業の全体像を理解する。	講義・演習	内容の振り返りを行う。		4
2	個性と性格ついて理解する①。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
3	個性と性格ついて理解する②。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
4	個性と性格の把握方法について理解する (内面編) ①。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
5	個性と性格の把握方法について理解する (内面編) ②。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
6	個性と性格の把握方法について理解する (内面編) ③。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
7	個性と性格の把握方法について理解する (内面編) ④。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
8	個性と性格の把握方法について理解する (外面編) ①。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
9	個性と性格の把握方法について理解する (外面編) ②。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
10	個性と性格の把握方法について理解する (外面編) ③。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
11	個性と性格の把握方法について理解する (外面編) ④。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
12	個性と性格を活かしたコミュニケーション方法について理解する①。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4
13	個性と性格を活かしたコミュニケーション方法について理解する②。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。		4

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

14	個性と性格を活かしたコミュニケーション方法について理解する③。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4
15	個性と性格を活かしたコミュニケーション方法について理解する④。	講義・演習	授業内容について整理し、課題に取り組む。	4
試				

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業毎にリアクションペーパーに加え、テーマごとに課題（ワーク）を課し、その内容および取組みの姿勢を総合的に評価する。課題（ワーク）は授業内だけでなく、授業終了後に提出するものが含まれる。	学内掲示、オフィスアワー、そして、Microsoft Teams を利用して個別にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし。
教員の実務経験	社会福祉士及び公認心理師の資格を有し、相談現場での実務経験を有する。
実践的授業の内容	教員自身の体験を含め様々な場面でのコミュニケーションの実例を示し、その実践知と論文や書籍に記載されている理論知を比較しながら学習する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 授業中、PC またはタブレット端末を使用するため持参すること。 生成 AI（ChatGPT 等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。